



## ソフトキーのカスタマイズ

- [ソフトキーに関する情報](#) (1 ページ)
- [ソフトキーの構成](#) (18 ページ)
- [ソフトキーの構成例](#) (38 ページ)
- [ソフトキーの機能情報](#) (42 ページ)

## ソフトキーに関する情報

### IP Phone のソフトキー

個々の IP Phone のさまざまな通話状態で表示されるソフトキーの、表示と順序をカスタマイズできます。デフォルトでは、各通話状態に適したソフトキーが表示されます。電話テンプレートを使用すると、通常表示されるソフトキーを削除したり、ソフトキーの表示順序を変更したりできます。たとえば、マネージャの電話機に、**CFwdAll** と **Confrn** ソフトキーを表示し、受付担当の電話機からこれらソフトキーを削除できます。

次の通話状態のソフトキーを変更できます。

- アラート：リモートポイントに着信コールを通知しているとき、およびリングバックまたは話中として発信者にリモートポイントのステータスがリレーされているとき。
- 接続中：リモートポイントへの接続が確立したとき。
- 保留：接続先がまだ接続しているが、一時的に音声接続がない状態のとき。
- アイドル：コールの発信前およびコールの完了後。
- 捕捉：発信者がコールを試みているが、まだ接続していないとき。
- リモート使用中：この電話機が共有しているオクトラインディレクトリ番号へのコールに別の電話機が接続しているとき（Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョン）。
- 呼び出し中：コールを受信し、コールが接続される前（Cisco Unified CME 4.2 以降のバージョン）。

すべての通話状態ですべてのソフトキーを使用できるわけではありません。CLI ヘルプを使用して、各通話状態で使用可能なソフトキーを表示します。ソフトキーは次のとおりです。

- **Acct** — 「アカウントコード」の略。構成されたアカウントへのアクセスを提供します。

- 応答 (Answer) : 着信コールをピックアップします。
- 割り込み (Barge) : ユーザは SIP 共有回線のコールに参加する (割り込む) ことができます (Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョン)。
- 折返し (Callback) : 話中の着信回線が空いたときに、コールバック通知を要求します。
- C 割り込み (CBarge) : 共有オクトラインディレクトリ番号のコールに割り込み (参加し) ます (Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョン)。
- CFwdALL — 「Call Forward All (不在転送)」の略。すべての通話を転送します。
- 参加者 (ConfList) : 会議のすべての参加者をリストします (Cisco Unified CME 4.1 以降のバージョン)。**Update** ソフトキーを押すと、たとえば、会議から参加者が削除されたかを確認するなど、会議の参加者リストを更新できます。**Remove** ソフトキーを押すと、該当する参加者を削除できます。
- Confm — 「会議」の略。発信者を電話会議に接続します。
- Details — 会議のすべての参加者を一覧表示します。このソフトキーは、Cisco 7800 Series IP Phone でのみサポートされています。**Update** を押すと、会議の参加者リストを更新できます。**Remove** ソフトキーを押すと、該当する参加者を削除できます。サブオプションである **Remove** は、会議開催者および **conference admin** が構成された電話機でのみ使用できます。
- DND — 「サイレントモード」の略。[サイレント (do-not-disturb)] 機能を有効にします。
- 終了 (EndCall) : 現在のコールを終了します。
- GPickUp — 「グループコールピックアップ」の略。ピックアップグループのメンバーである電話番号に着信する通話を選択して応答します。
- Flash — 「フックフラッシュ」の略。Foreign Exchange Office (FXO) ポート経由で公衆電話交換網 (PSTN) に接続された通話に対して、PSTN サービス用のフックフラッシュ機能を提供します。
- ハント (HLog) : ハントグループエージェントの電話を受信不可ステータスにするか、電話を受信不可ステータスならば、電話を受信可ステータスにします。
- 保留 (Hold) : アクティブ コールを保留にして、コールを再開します。
- 即転送 (iDivert) : ボイス メッセージング システムにコールをすぐに転送します (Cisco Unified CME 8.5 以降のバージョン)。
- 参加 (Join) : 会議のため、確立済みコールに参加します (Cisco Unified CME 4.1 以降のバージョン)。
- ライブ レコード (LiveRcd) : コールの録音を開始します (Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョン)。
- ログイン (Login) : 制限付き電話機能に対して Personal Identification Number (PIN) アクセスを提供します。
- ミートミー (MeetMe) : ミートミー会議を開始します (Cisco Unified CME 4.1 以降のバージョン)。
- モビリティ (Mobility) : シングルナンバーリーチ (SNR) 機能によって定義される PSTN 番号にコールを転送します (Cisco Unified CME 7.1 以降のバージョン)。
- 発信 (NewCall) : スピーカーフォンで回線を開き、新しいコールを発信します。
- パーク (Park) : アクティブ コールを保留状態にして、システム内の別の電話機で着信できるようにします。

- **ピック (PickUp)** : 別の内線へ着信するコールを選択してピックアップします。
- **リダイヤル (Redial)** : 最後にダイヤルした番号にリダイヤルします。
- **復帰 (Resume)** : 保留中のコールに接続します。
- **ドロップ (RmLstC)** : 会議に最後に追加された参加者を削除します。このソフトキーが機能するのは、会議作成者だけです (Cisco Unified Cisco Mobility Express 4.1 以降のバージョン)。
- **選択 (Select)** : アクションを実行する対象のコールまたは会議を選択します (Cisco Unified CME 4.1 以降のバージョン)。
- **Show detail** — 会議のすべての参加者を一覧表示します。このソフトキーは、Cisco 8800 Series IP Phone でのみサポートされています。 **Update** を押すと、会議の参加者リストを更新できます。 **Remove** ソフトキーを押すと、該当する参加者を削除できます。サブオプションである **Remove** は、会議開催者および **conference admin** が構成された電話機でのみ使用できます。
- **Trnsfer** — 「call transfer」の略。進行中の通話を別の内線に転送します。
- **VM 転送 (TrnsfVM)** : ボイスメール内線番号にコールを転送します (Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョン)。

ソフトキーの順序を変更するには、電話テンプレートを定義し、そのテンプレートを1台以上の電話機に適用します。SCCP 電話機では最大 20 の電話テンプレート、SIP 電話機では最大 10 の電話テンプレートを作成できます。1台の電話機に適用できるテンプレートは1つのみです。すでにテンプレートが適用されている電話機に2つめの電話テンプレートを適用した場合、2つめのテンプレートによって、最初の電話テンプレートの情報は上書きされます。新しい情報は、新しい構成ファイルを生成して電話機を再起動してから有効になります。再起動しないと、以前に設定されたテンプレートが有効なままになります。

Cisco Unified Cisco Mobility Express 4.1 では、SIP を実行中の IP Phone に対するソフトキーディスプレイのカスタマイズは、Cisco Unified IP Phone 7911G、7941G、7941GE、7961G、7961GE、7970G、および 7971GE だけでサポートされます。

構成情報については、[ソフトキーのカスタマイズ \(1 ページ\)](#) を参照してください。

## Unified Cisco Mobility Express リリース 12.3 以降のリリースで導入されたソフトキー

Unified Cisco Mobility Express リリース 12.3 から、Cisco IP Conference Phone 7832 および Cisco IP Conference Phone 8832 のサポートが導入されました。Cisco IP Conference Phone 7832 および Cisco IP Conference Phone 8832 では、次のソフトキーを使用できます。

- **Recents** – 通話履歴を表示します。
- **Contacts** – ディレクトリリストを表示します。
- **Apps** – サービスオプションを表示します (My Phone アプリ、エクステンションモビリティ)。
- **Favorites** – 構成済みのスピードダイヤルを表示します。
- **Messages** – 音声メールのユーザー補助を提供します。
- **Settings** – 電話機設定オプションを表示します。

Unified Cisco Mobility Express リリース 12.3 で導入されたソフトキーは、次のテンプレートをサポートしています。

- 個人ユーザーのソフトキーテンプレート
- パブリックユーザーのソフトキーテンプレート

個人用テンプレートは、電話機の完全な機能を提供するために必要なすべてのソフトキーをサポートしています。パブリックテンプレートは、基本的な会議室のユースケース用に定義された制限付きソフトキー一式をサポートします。個人用ソフトキーテンプレートは、**voice register template** 構成モードで CLI コマンドである **softkeys personal-conf-user** を構成することで有効になります。CLI コマンドの **softkeys personal-conf-user** の **no** 形式を使用して、パブリックユーザーのソフトキーテンプレートのデフォルト構成に切り替えます。構成が提供されない場合、パブリックユーザーのソフトキーテンプレートのデフォルト構成が適用されます。Unified Cisco Mobility Express Release 12.3 で導入されたソフトキーは、Cisco IP Conference Phone 7832 および 8832 でのみサポートされています。したがって、**softkeys personal-conf-user** は、オプション構成で電話機テンプレートが、Cisco IP Conference Phones 7832 または 8832 に適用する必要がある場合のみ必要になります。SIP 電話機のソフトキー構成については、「[SIP 電話機のソフトキーディスプレイの変更 \(21 ページ\)](#)」を参照してください。

個人ユーザーのソフトキーテンプレートは、パブリックソフトキーのユーザーテンプレートでサポートされるソフトキーとは別に、次のソフトキーをサポートします。

- Messages
- CfwdAll
- DND
- Redial

以下は、個人ユーザーのソフトキー テンプレートの構成例です。

```
voice register template 7
  softkeys personal-conf-user
```

Unified Cisco Mobility Express リリース 12.7 以降のリリースでは、Cisco IP Conference Phone 7832 および Cisco IP Conference Phone 8832 で次のサポートが導入されています。

- カスタム ソフトキー テンプレート

カスタム ソフトキー テンプレートは、Unified Cisco Mobility Express 上の他の SIP 電話機ですでにサポートされています。Unified Cisco Mobility Express リリース 12.7 以前は、Cisco IP Conference Phone 7832 および Cisco IP Conference Phone 8832 でのサポートは、個人ユーザーのソフトキーテンプレートとパブリックユーザーのソフトキーテンプレートに限定されていました。カスタム ソフトキー テンプレートを有効にするには **voice register template** 構成モードで **softkeys** コマンドを構成します。

以下は、カスタム ユーザー ソフトキー テンプレートの構成例です。

```
voice register template 7
  softkeys hold {[Newcall] {Resume}}
```

ソフトキーの構成については、「[SIP電話機のソフトキーディスプレイの変更 \(21ページ\)](#)」を参照してください。



- (注) **voice register template** で **softkeys personal-conf-user** コマンドを構成する場合、個人ユーザーのソフトキーテンプレートを有効にします。**voice register template** 構成モードでソフトキーコマンドを構成しない場合、デフォルトのパブリックユーザーソフトキーテンプレートが有効になります。

## アカウントコードの入力

Cisco Unified IP Phone 7940 と 7940G および Cisco Unified IP Phone 7960 と 7960G では、電話機ユーザーが通話設定時または進行中の通話の接続時に **Acct** ソフトキーを使用してアカウントコードを入力できます。アカウントコードは、Cisco Unified CME ルータ上のコール詳細レコード (CDR) に挿入され、後で課金ソフトウェアによって解釈されます。

アカウントコードは、テレフォニーコールレグの **show call active** コマンドおよび **show call history** コマンドの出力に表示され、CISCO-VOICE-DIAL-CONTROL-MIB によってサポートされます。アカウントコードは、音声の認証、許可、およびアカウントティング (AAA) のための「account-code」RADIUS ベンダー固有属性 (VSA) にも表示されます。

通話設定時または接続中状態時にアカウントコードを入力するには、**Acct** ソフトキーを押し、電話機のキーパッドを使用してアカウントコードを入力し、次に [#] キーを押して、Cisco Unified Cisco Mobility Express にコードの最後の桁が入力されたこと通知します。アカウントコードの桁は # の受信と同時に処理され、処理後に **show** 出力に表示されます。

この機能を使用するために設定する必要はありません。



- (注) [#] キーが押されなかった場合、アカウントコードの各桁はタイマーが期限切れになってから処理されます。タイマーは最初の桁の入力では 30 秒、それ以降の各桁では  $n$  秒です。 $n$  は **timeouts interdigit (telephony-service)** コマンドで構成した秒数です。interdigit タイムアウトのデフォルト値は 10 秒です。アカウントコードの桁は、処理されるまで **show** コマンド出力には表示されません。

## Hookflash ソフトキー

Flash ソフトキーは、Cisco Unified Cisco Mobility Express システムに接続された FXO 回線を使用する IP Phone で発信された通話に対して、hookflash 機能を提供します。3 者間通話やコール待機などの特定の PSTN サービスには、電話機ユーザによるフックフラッシュ操作が必要です。

Flash が IP Phone で有効になると、ローカル IP Phone 間通話以外のすべての通話中に、hookflash 機能が提供されます。フックフラッシュ制御のサービスは、コールに関係する PSTN 接続によってサポートされる場合にのみアクティブにできます。Flash ソフトキーが使用可能であつ

でも、電話機ユーザーが hookflash ベースのサービスにアクセスできることが保証されるわけではありません。

構成情報については、「[Flash ソフトキーの有効化 \(25 ページ\)](#)」を参照してください。

## 機能のブロック

Cisco Unified Cisco Mobility Express 4.0 以降のバージョンでは、1 台以上の電話機のソフトキー機能を個別にブロックできます。ブロックする機能を指定するには、**features blocked** コマンドを ephone テンプレートに追加します。このテンプレートは、ephone コンフィギュレーションモードで 1 つ以上の ephone に適用されます。

**features blocked** コマンドを使用して機能がブロックされると、ソフトキーは削除されませんが機能がなくなります。構成情報については、[機能ブロックの構成 \(27 ページ\)](#) を参照してください。

ソフトキーディスプレイを削除するには、該当する **no softkeys** コマンドを使用します。「[SCCP 電話機のソフトキーディスプレイの変更 \(18 ページ\)](#)」を参照してください。

## Feature Policy ソフトキー制御

Cisco Unified Cisco Mobility 8.5 では、Feature Policy テンプレートを使用すると、Cisco Unified SIP IP Phones 8961、9951、9971 でソフトキーの表示を制御できます。Feature Policy テンプレートを使用すると、Cisco Unified SIP IP Phones 8961、9951、9971 で機能ソフトキーのリストを有効化および無効化できます。[表 1: 制御可能な機能の機能 ID とデフォルトの状態 \(6 ページ\)](#) は、Cisco Unified SIP IP Phone 8961、9951、および 9971 で制御可能な機能ソフトキーを、特定の機能 ID およびそのデフォルトの状態とともに示します。

表 1: 制御可能な機能の機能 ID とデフォルトの状態

機能 ID	機能名	説明	CMEでのデフォルトの状態
1	不在転送	すべてのコールを転送する	有効
2	パーク	コールをパークする	有効
3	iDivert	ボイスメールに転送する	有効
4	参加者	会議リスト	無効
5	SpeedDial	短縮されたダイヤル	無効
6	コールバック	コールバック	無効
7	リダイヤル	コールのリダイヤル	有効
8	割り込み	コールへの割り込み	有効



Cisco Unified Cisco Mobility Express は、音声登録テンプレート構成モードで、既存の **softkey** コマンドを使用して電話機で制御可能な機能ソフトキーを制御します。Cisco Unified Cisco Mobility Express は、構成された voice register template <x> 向けに featurePolicy<x>.xml ファイルを生成します。制御可能なソフトキー構成リストは、featurePolicy<x>.xml ファイルで指定されています。機能ポリシーテンプレートファイルをダウンロードするには、電話機を再起動またはリセットする必要があります。Feature Policyテンプレートが割り当てられていない Cisco IP Phone の場合、デフォルトの Feature Policy テンプレートファイル (featurePolicyDefault.xml ファイル) を使用できます。

## SIP IP Phone の即転送

即転送 (iDivert) 機能では、コールをボイスメッセージングシステムにすぐに転送できます。音声メッセージングシステム (Cisco Unity Express または Cisco Unity) を含む 7940、7040G、7960 G、7945、7965、7975、8961、9951、および 9971 などの Cisco Unified SIP IP Phone で **iDivert** ソフトキーを押すと、通話を転送できます。コールが転送されると、回線で新しいコールを発信または着信できるようになります。

iDivert機能を使用して転送されるコールの状態は、呼び出し中、通話中、保留中です。コールの転送に成功した場合、発信者はボイスメッセージングシステムからグリーティングを受信します。

発信者は自分のボイスメールボックスにのみコールを転送できます。ただし、着信側のコールは iDivert 機能呼び出した (最後にリダイレクトされた) 発信者のボイスメールボックスまたは最初の着信者のボイスメールボックスのいずれかに転送できます。

iDivert ソフトキーは、softkeyxxxx.xml ファイルを使用する Cisco Unified Cisco Mobility Express に登録する際に電話機に追加されます。**create profile** コマンドが音声登録グローバル構成モードで実行されると、Cisco Unified Cisco Mobility Express は、softkeyxxxx.xml ファイルを生成します。**softkey** コマンドを使用すると電話機のディスプレイの iDivert ソフトキーを無効にでき、位置を変更できます。詳細については、[SIP 電話機の Immediate Divert \(iDivert\) ソフトキーの構成 \(29 ページ\)](#) を参照してください。

## 拡張済み Immediate Divert (拡張 iDivert)

[拡張 iDivert (Enhanced iDivert)] 機能は、Unified Cisco Mobility Express でサポートされる [iDivert] 機能の拡張バージョンです。

[拡張 iDivert (Enhanced iDivert)] 機能は、Unified Cisco Mobility Express 8.5 以降のリリースでサポートされています。[拡張 iDivert (Enhanced iDivert)] は、SIP 電話機と SCCP 電話機の両方でサポートされています。iDivert は、Cisco Unified IP Phone のソフトキーとしてサポートされています。この機能は、**iDivert** ソフトキーを使用して、Unified Cisco Mobility Express でデフォルトで有効になっています。

iDivert は通話をすぐに音声メッセージングシステムに転送しますが、拡張 iDivert 機能を使用すると、ダイヤルした電話機の音声メッセージングシステムまたは通話転送が設定されている電話機の音声メッセージングシステムに通話を即座に転送できます。

Unified Cisco Mobility Express に登録された電話機 A から電話機 B への音声メッセージのシナリオを考えてみます。Call Forward は、電話機 B から電話機 C に設定され、これも Unified Cisco Mobility Express に登録されています。電話機 B と電話機 C はどちらも音声メッセージをサポートしています。音声メッセージを Unified Cisco Mobility Express の音声メッセージサーバーに配信すると、電話機 B には **call-forward mailbox** が構成されているためメッセージを転送します。電話機 C で **iDivert** ソフトキーを押すと、電話機 A は音声プロンプトを受け取ります。[拡張 iDivert (Enhanced iDivert)] 機能を使用すると、電話機 A のユーザーは、音声メッセージを電話機 A または電話機 B のどちらに配信する必要があるかを決定できます。

## プログラム可能な回線キー (PLK)

プログラム可能な回線キー (PLK) 機能を使用すると、回線ボタンに機能ボタンまたはサービス URL ボタンをプログラミングできます。回線キーは、回線ボタン、スピードダイヤル、BLF スピードダイヤル、機能ボタン、および URL ボタンで設定できます。



(注) ボタンレイアウトが指定されていない場合は、ボタンが回線ボタン、スピードダイヤルボタン、BLF スピードダイヤルボタン、機能ボタン、サービス URL ボタンの順に電話回線に割り当てられます。

Cisco Unified 電話機でサービス URL ボタンとして機能するよう、**url-button** コマンドを使用して回線キーをプログラムします（「[SCCP 電話機のサービス URL 回線キーボタンの構成 \(32 ページ\)](#)」と「[SIP 電話機のサービス URL 回線キーボタンの構成 \(33 ページ\)](#)」を参照）。同様に、**feature-button** コマンドを使用して昨日ボタンとして Cisco IP Phone で回線キーをプログラムすることもできます（「[SCCP 電話回線キーの機能ボタンの構成 \(35 ページ\)](#)」と「[SIP 電話回線キーの機能ボタンの構成 \(36 ページ\)](#)」を参照）。

また、エクステンション モビリティ (EM) が有効になっている電話機でユーザープロファイルを使用して、回線キーが機能ボタンとして機能するようにプログラミングすることもできます。EM 電話機で機能ボタンとして機能するように回線キーを構成する場合は、「[Cisco Unified IP Phone 文書](#)」を参照してください。

表 2: [さまざまな電話機モデルでの PLK 機能の可用性 \(8 ページ\)](#) は、さまざまな Cisco Unified IP Phone モデルで PLK としてサポートされるソフトキーを一覧します。

表 2: さまざまな電話機モデルでの PLK 機能の可用性

プログラム可能な回線キー (PLK) としてサポートされるソフトキー	7914、7915、7916 SCCP 電話機	7931 Phone	6900 シリーズ SCCP 電話機	7942、7962、7965、7975 SIP 電話機	8961、9951、および 9971 SIP 電話機
アカウント	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外	サポート対象外



プログラム可能な回線キー (PLK) としてサポートされるソフトキー	7914、7915、7916 SCCP 電話機	7931 Phone	6900 シリーズ SCCP 電話機	7942、7962、7965、7975 SIP 電話機	8961、9951、および 9971 SIP 電話機
コールバック	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外	サポート対象外
会議	サポート対象	サポート対象	サポート対象外 <sup>1</sup>	サポート対象	サポート対象外
会議リスト	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外	サポート対象外
カスタマイズされた URL	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外
サイレント	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象
終了	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外
エクステンション モビリティ	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外	サポート対象外
不在転送	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外
GPickUp	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象
保留	サポート対象	サポート対象外 <sup>1</sup>	サポート対象外 <sup>1</sup>	サポート対象	サポート対象外
フックフラッシュ	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外	サポート対象外
ハントグループ	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外	サポート対象外
ライブレコード	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外	サポート対象外
ログイン	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外	サポート対象外
Meet Me	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外	サポート対象外

## プログラム可能な回線キー (PLK)

プログラム可能な回線キー (PLK) としてサポートされるソフトキー	7914、7915、7916 SCCP 電話機	7931 Phone	6900 シリーズ SCCP 電話機	7942、7962、7965、7975 SIP 電話機	8961、9951、および 9971 SIP 電話機
モビリティ	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外	サポート対象外
電話アプリケーション	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外	サポート対象外
発信	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外
夜間サービス	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外	サポート対象外
パーク	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象
個人短縮ダイヤル	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
ピックアップ	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象
プライバシー	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象
リダイヤル	サポート対象	サポート対象外 <sup>1</sup>	サポート対象	サポート対象	サポート対象
最後の参加者の削除	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外	サポート対象外
電話のリセット	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
サービス URL	サポート対象外 <sup>1</sup>	サポート対象外 <sup>2</sup>	サポート対象外 <sup>3</sup>	サポート対象外	サポート対象外
スピードダイヤルボタン	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
シングルナンバーリーチ	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外	サポート対象外
転送	サポート対象	サポート対象外 <sup>1</sup>	サポート対象外 <sup>1</sup>	サポート対象	サポート対象外
VM へ転送	サポート対象	サポート対象	サポート対象	サポート対象外	サポート対象外

- <sup>1</sup> この機能は、ハードウェアボタンから利用できます。
- <sup>2</sup> この機能は [アプリケーション (Application) ] ボタンから利用できます。
- <sup>3</sup> この機能は [設定 (Set) ] ボタンから利用できます。

表 3 : Cisco Unified CME 8.8 の Cisco Unified 6945/8941/8945 SCCP IP Phone で使用可能な PLK 機能 (11 ページ) に、Cisco Unified CME 8.8 の Cisco Unified 6945/8941/8945 SCCP IP Phone で使用可能な PLK 機能を示します。

表 3 : Cisco Unified CME 8.8 の Cisco Unified 6945/8941/8945 SCCP IP Phone で使用可能な PLK 機能

プログラム可能な回線キーとしてサポートされるソフトキー	Cisco Unified 6945/8941/8945 SCCP IP Phone
アカウント	サポート対象
コールバック	サポート対象
通話中着信のキャンセル	サポート対象
会議リスト	サポート対象
カスタマイズされた URL	サポート対象
サイレント	サポート対象
終了	サポート対象
エクステンション モビリティ	サポート対象
不在転送	サポート対象
グループピックアップ	サポート対象
フックフラッシュ	サポート対象
ハントグループログイン (HLog)	サポート対象
ライブレコード	サポート対象
ログイン	サポート対象
Meet Me	サポート対象
モビリティ	サポート対象
電話アプリケーション	サポート対象
発信	サポート対象
夜間サービス	サポート対象
パーク	サポート対象

プログラム可能な回線キーとしてサポートされるソフトキー	Cisco Unified 6945/8941/8945 SCCP IP Phone
個人短縮ダイヤル	サポート対象外
ピックアップ	サポート対象
プライバシー	サポート対象
リダイヤル	サポート対象
最後の参加者の削除	サポート対象
電話のリセット	サポート対象外
サービス URL	サポート対象外
スピードダイヤルボタン	サポート対象
シングルナンバーリーチ	サポート対象
VMへ転送	サポート対象

表 4: Cisco Unified CME 9.0 の Cisco Unified 6911/6921/6941/6945/6961/8941/8945 SIP IP Phone で使用可能な PLK 機能 (12 ページ) に、Cisco Unified CME 9.0 の Cisco Unified 6911/6921/6941/6945/6961/8941/8945 SIP IP Phone で使用可能な PLK 機能を示します。

表 4: Cisco Unified CME 9.0 の Cisco Unified 6911/6921/6941/6945/6961/8941/8945 SIP IP Phone で使用可能な PLK 機能

プログラム可能な回線キーとしてサポートされるソフトキー	Cisco Unified 6911 SIP IP Phone	Cisco Unified 6921/6941/6945/6961 SIP IP Phone	Cisco Unified 8941/8945 SIP IP Phone
アカウント	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
コールバック	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
会議	サポート対象外	該当なし <sup>4</sup>	該当なし <sup>1</sup>
会議リスト	サポート対象外	サポート対象	サポート対象
カスタマイズされた URL	サポート対象外	サポート対象	サポート対象外
サイレント	サポート対象外	サポート対象	サポート対象
終了	サポート対象外	サポート対象	サポート対象
エクステンションモビリティ	サポート対象外	サポート対象	サポート対象

プログラム可能な回線キーとしてサポートされるソフトキー	Cisco Unified 6911 SIP IP Phone	Cisco Unified 6921/6941/6945/6961 SIP IP Phone	Cisco Unified 8941/8945 SIP IP Phone
不在転送	サポート対象	サポート対象	サポート対象
グループピックアップ	サポート対象	サポート対象	サポート対象
保留	サポート対象	サポート対象	サポート対象
フックフラッシュ	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
ハントグループ	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
ライブレコード	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
ログイン	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
Meet Me	サポート対象	サポート対象	サポート対象
モビリティ	サポート対象外	サポート対象	サポート対象
電話アプリケーション	サポート対象外	サポート対象	サポート対象
発信	サポート対象外	サポート対象	サポート対象
夜間サービス	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
パーク	サポート対象外	サポート対象	サポート対象
個人短縮ダイヤル	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
ピックアップ	サポート対象	サポート対象	サポート対象
プライバシー	サポート対象	サポート対象	サポート対象
リダイヤル	サポート対象	サポート対象	サポート対象
最後の参加者の削除	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
電話のリセット	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
サービス URL	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
シングルナンバーリーチ	サポート対象外	サポート対象	サポート対象外
スピードダイヤル	サポート対象	サポート対象	サポート対象
転送	サポート対象外	該当なし <sup>5</sup>	該当なし <sup>2</sup>
VMへ転送	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外

- <sup>4</sup> これらの電話機には、「会議」ハードキーがあります。  
<sup>5</sup> これらの電話機には、「転送」ハードキーがあります。

Cisco Unified IP Phone 7902、7905、7906、7910、7911、7912、7935、7936、7937、7940、7960、および 7985 では PLK 機能がサポートされません。サービス URL ボタンは Cisco Unified IP Phone 7920、7921、7925 (サイレントおよびプライバシーのみサポート)、3911、および 3951 ではサポートされません。

表 5 : Cisco Unified Cisco Mobility Express 11.0 以降の Cisco Unified 7800、8800 Series SIP IP Phone での PLK 機能の可用性 (14 ページ) は、Cisco Unified Cisco Mobility Express リリース 11.0 以降の Cisco Unified 7800 および Cisco IP Phone 8800 Series SIP IP Phone で使用できる PLK 機能を一覧しています。Unified Cisco Mobility Express リリース 11.7 の一部として、Cisco IP Phone 8821、8845、8865 の新しい電話サポートが導入されました。この追加により、Unified Cisco Mobility Express は Cisco IP Phone 7800 Series および Cisco IP Phone 8800 Series のすべての電話機モデルをサポートします。

表 5 : Cisco Unified Cisco Mobility Express 11.0 以降の Cisco Unified 7800、8800 Series SIP IP Phone での PLK 機能の可用性

プログラム可能な回線キーとしてサポートされるソフトキー	Cisco Unified 7800 Series SIP IP Phone	Cisco Unified 8800 Series SIP IP Phone
アカウント	サポート対象外	サポート対象外
コールバック	サポート対象外	サポート対象外
会議	サポート対象外	サポート対象外
会議リスト	サポート対象	サポート対象
カスタマイズされた URL	サポート対象外	サポート対象外
サイレント	サポート対象	サポート対象
終了	サポート対象	サポート対象
エクステンション モビリティ	サポート対象	サポート対象
不在転送	サポート対象	サポート対象
グループピックアップ	サポート対象	サポート対象
保留	サポート対象	サポート対象
フックフラッシュ	サポート対象外	サポート対象外
HLog (Unified Cisco Mobility Express リリース 11.6 以降)	サポート対象	サポート対象
ライブレコード	サポート対象外	サポート対象外
ログイン	サポート対象外	サポート対象外



プログラム可能な回線キーとしてサポートされるソフトキー	Cisco Unified 7800 Series SIP IP Phone	Cisco Unified 8800 Series SIP IP Phone
Meet Me	サポート対象	サポート対象
モビリティ	サポート対象	サポート対象
電話アプリケーション	サポート対象	サポート対象
発信	サポート対象	サポート対象
パーク	サポート対象	サポート対象
個人短縮ダイヤル	サポート対象外	サポート対象外
ピックアップ	サポート対象	サポート対象
プライバシー	サポート対象	サポート対象
リダイヤル	サポート対象	サポート対象
最後の参加者の削除	サポート対象外	サポート対象外
電話のリセット	サポート対象外	サポート対象外
サービス URL	サポート対象外	サポート対象外
シングル ナンバー リーチ	サポート対象外	サポート対象外
スピードダイヤル	サポート対象	サポート対象
転送	サポート対象外	サポート対象外
VM へ転送	サポート対象外	サポート対象外

表 6: LED の動作 (15 ページ) 機能ボタンおよびそれに対応する LED の動作を示しています。ラジオアイコンがある機能のみ、LED を経由して状態を表示します。

表 6: LED の動作

機能	ラベル/タグ付き ID	ラベル/拡張タグ付き ID	アイコン	LED の動作
リダイヤル	Redial/SkRedialTag 0x01	—	デフォルト	—
保留	Hold/SkHoldTag 0x03	—	保留	—
転送	Transfer/SkTrnsferTag 0x04	—	転送	—
不在転送		Forward All/0x2D	デフォルト	—

機能	ラベル/タグ付き ID	ラベル/拡張タグ付き ID	アイコン	LED の動作
Meet Me	MeetMe/ SkMeetMeConfrn Tag 0x10	—	デフォルト	—
会議	Conference/SkConfrnTag 0x34	—	会議	—
パーク	Park/SkParkTag 0x0E	—	デフォルト	—
ピックアップ	PickUp/SkCallPickUpTag 0x11	—	デフォルト	—
GPickUp	—	Group PickUp/0x2F	デフォルト	—
モビリティ	—	Mobility/0x2B	モビリティ	—
サイレント	—	Do Not Disturb/0x0f	オプションボタン	オン — アク ティブ オフ — 非アク ティブ
会議リスト	—	Conference List/0x34	デフォルト	—
最後の参加者の削除	—	Remove Last Participant/0x30	デフォルト	—
コールバック	CallBack/SkCallBackTag 0x41	—	デフォルト	—
発信	NewCall/SkNewCallTag 0x02	—	デフォルト	—
終了	—	End Call/0x33	デフォルト	—
通話中着信のキャンセル	CW Off	—	デフォルト	—
ハント	—	ハントグルー プ/0x36	デフォルト	オン — hlog in オフ — hlog out 点滅 — Hlogout 状態で通話が キュー入り

機能	ラベル/タグ付き ID	ラベル/拡張タグ付き ID	アイコン	LED の動作
プライバシー	Private/ SkPrivacy 0x36	—	オプションボタン	オン — アクティブ オフ — 非アクティブ
アカウント	Acct/ TAGS_ACCT_40 TAGS_Acct[]	—	デフォルト	—
フラッシュ	Flash/ TAGS_FLASH_41 TAGS_Flash[]	—	デフォルト	—
ログイン	Login/ TAGS_LOGIN_42 TAGS_Login[]	—	デフォルト	—
TrnsfVM	TrnsfVM/SkTrnsfVMTag 0x3e	—	デフォルト	—
LiveRcd	LiveRcd	—	デフォルト	—
夜間サービス	Night Service/ TAGS_Night_Service[]	—	オプションボタン	オン — アクティブ オフ — 非アクティブ
Myphoneapp URL サービス	電話アプリケーション	—	URL サービス	—
EMURL サービス	エクステンションモビリティ	—	URL サービス	—
SN URL サービス	シングルナンバーリーチ	—	URL サービス	—
カスタマイズ URL	構成された名前	—	URL サービス	—

# ソフトキーの構成

## SCCP 電話機のソフトキーディスプレイの変更

ソフトキーのディスプレイを変更するには、次の手順を実行します。



### 制約事項

- ハードウェア会議が構成されている場合のみ、ConfList および MeetMe ソフトキーを有効化します。会議の詳細については、「[ハードウェア会議](#)」を参照してください。
- Cisco Unified IP Phone 7905G および Cisco Unified IP Phone 7912G の 3 つ目のソフトキーボタンは、Message ソフトキー用に予約されています。これらの電話機のテンプレートの場合、3 つ目のソフトキーボタンは、デフォルトで Message ソフトキーになります。たとえば、**softkeys idle Redial Dnd Pickup Login Gpickup** コマンド構成は、Redial、DND、Message、PickUp、Login および GPickUp ソフトキーの順に表示されます。
- NewCall ソフトキーは、Cisco Unified IP Phone 7905G または Cisco Unified IP Phone 7912G で表示できません。

### 始める前に

- Cisco CME 3.2 以降のバージョン。
- Cisco Unified Cisco Mobility Express 4.2 以降のバージョンで、呼び出し中通話の状態時にソフトキーを有効化します。
- Cisco Unified Cisco Mobility Express 4.3 以降のバージョンで、リモートで使用状態時にソフトキーを有効化します。
- HLog ソフトキーは、**hunt-group logout HLog** コマンドを使用して、表示前に有効化する必要があります。詳細は [SCCP 電話機での ephone-Hunt グループの構成](#) を参照してください。
- Flash ソフトキーは、**fxo hook-flash** コマンドを使用して、表示前に有効化する必要があります。構成情報については、「[Flash ソフトキーの有効化 \(25 ページ\)](#)」を参照してください。

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone-template *template-tag***
4. **softkeys alerting {[Acct] [Callback] [Endcall]}**
5. **softkeys connected {[Acct] [ConfList] [Confrn] [Endcall] [Flash] [Hlog] [Hold] [Join] [LiveRcd] [Park] [RmLstC] [Select] [TrnsfVM] [Trnsfer]}**
6. **softkeys hold {[Join] [Newcall] [Resume] [Select]}**

7. `softkeys idle` {[Cfdall] [ConfList] [Dnd] [Gpickup] [Hlog] [Join] [Login] [Newcall] [Pickup] [Redial] [RmLstC]}
8. `softkeys remote-in-use` {[CBarge] [Newcall]}
9. `softkeys ringing` {[Answer] [Dnd] [HLog]}
10. `softkeys seized` {[CallBack] [Cfdall] [Endcall] [Gpickup] [Hlog] [MeetMe] [Pickup] [Redial]}
11. `exit`
12. `ephone phone-tag`
13. `ephone-template template-tag`
14. `end`

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	<b>ephone-template template-tag</b> 例： Router(config)# ephone-template 15	ephone テンプレート コンフィギュレーション モードを開始して、ephone テンプレートを作成します。  • <b>template-tag</b> : 作成される ephone テンプレートの固有識別子。範囲は 1 ~ 20 です。
ステップ 4	<b>softkeys alerting</b> {[Acct] [Callback] [Endcall]} 例： Router(config-ephone-template)# softkeys alerting Callback Endcall	(オプション) 警告通話状態時にソフトキーディスプレイ用の ephone テンプレートを構成します。  • いずれのキーワードも任意の順序で入力できます。 • デフォルトでは、すべてのソフトキーがアルファベット順に表示されます。 • 明示的に定義されていないソフトキーは無効です。
ステップ 5	<b>softkeys connected</b> {[Acct] [ConfList] [Confrn] [Endcall] [Flash] [Hlog] [Hold] [Join] [LiveRcd] [Park] [RmLstC] [Select] [TrnsfVM] [Trnsfer]} 例： Router(config-ephone-template)# softkeys connected Endcall Hold Transfer Hlog	(オプション) 通話接続中状態時のソフトキーディスプレイ用 ephone テンプレートを構成します。  • いずれのキーワードも任意の順序で入力できます。 • デフォルトでは、すべてのソフトキーがアルファベット順に表示されます。 • 明示的に定義されていないソフトキーは無効です。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6	<b>softkeys hold</b> {[Join] [Newcall] [Resume] [Select]} 例： <pre>Router(config-ephone-template)# softkeys hold Resume</pre>	(オプション) 通話保留状態時のソフトキーディスプレイ用 ephone テンプレートを構成します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• いずれのキーワードも任意の順序で入力できます。</li> <li>• デフォルトでは、すべてのソフトキーがアルファベット順に表示されます。</li> <li>• 明示的に定義されていないソフトキーは無効です。</li> </ul>
ステップ 7	<b>softkeys idle</b> {[Cfwdall] [ConfList] [Dnd] [Gpickup] [Hlog] [Join] [Login] [Newcall] [Pickup] [Redial] [RmLstC]} 例： <pre>Router(config-ephone-template)# softkeys idle Newcall Redial Pickup Cfwdall Hlog</pre>	(オプション) アイドル状態時のソフトキーディスプレイ用 ephone テンプレートを構成します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• いずれのキーワードも任意の順序で入力できます。</li> <li>• デフォルトでは、すべてのソフトキーがアルファベット順に表示されます。</li> <li>• 明示的に定義されていないソフトキーは無効です。</li> </ul>
ステップ 8	<b>softkeys remote-in-use</b> {[CBarge] [Newcall]} 例： <pre>Router(config-ephone-template)# softkeys remote-in-use CBarge Newcall</pre>	リモートで使用し通話状態で、IP Phone に表示されるソフトキーの順序とタイプを変更します。
ステップ 9	<b>softkeys ringing</b> {[Answer] [Dnd] [HLog]} 例： <pre>Router(config-ephone-template)# softkeys ringing Answer Dnd Hlog</pre>	(オプション) 呼び出し中状態時のソフトキーディスプレイ用 ephone テンプレートを構成します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• いずれのキーワードも任意の順序で入力できます。</li> <li>• デフォルトでは、すべてのソフトキーがアルファベット順に表示されます。</li> <li>• 明示的に定義されていないソフトキーは無効です。</li> </ul>
ステップ 10	<b>softkeys seized</b> {[CallBack] [Cfwdall] [Endcall] [Gpickup] [Hlog] [MeetMe] [Pickup] [Redial]} 例： <pre>Router(config-ephone-template)# softkeys seized Endcall Redial Pickup Cfwdall Hlog</pre>	(オプション) 占有状態時のソフトキーディスプレイ用 ephone テンプレートを構成します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• いずれのキーワードも任意の順序で入力できます。</li> <li>• デフォルトでは、すべてのソフトキーがアルファベット順に表示されます。</li> <li>• 明示的に定義されていないソフトキーは無効です。</li> </ul>



	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 11	<b>exit</b> 例： Router(config-ephone-template)# exit	ephone テンプレート コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 12	<b>ephone phone-tag</b> 例： Router(config)# ephone 36	ephone コンフィギュレーション モードを開始します。  • phone-tag - 構成タスク中この ephone を特定する一意のシーケンス番号。
ステップ 13	<b>ephone-template template-tag</b> 例： Router(config-ephone)# ephone-template 15	ephone テンプレートを、設定する ephone に適用します。
ステップ 14	<b>end</b> 例： Router(config-ephone)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

### 次のタスク

Cisco Unified Cisco Mobility Express で電話機のパラメータの修正が完了したら、新しい構成ファイルを生成し、電話機を再起動します。「[SCCP 電話機用構成ファイルの生成](#)」を参照してください。

## SIP 電話機のソフトキーディスプレイの変更



### 制約事項

- この機能は Cisco Unified IP Phone 7911G、7941G、7941GE、7961G、7961GE、7970G、および 7971GE だけでサポートされます。
- カスタムソフトキー XML ファイルは TFTP サーバーからダウンロードできます。ただし、ソフトキー XML ファイルにエラーがある場合、ソフトキーは電話機で正常に機能しない場合があります。Cisco Unified Cisco Mobility Express でソフトキーテンプレートを作成するには、次の手順を実行することが推奨されます。
- HLog sソフトキーは、Cisco Unified IP Phones 7800 および 8800 series でのみサポートされています。

### 始める前に

Cisco Unified CME 4.1 以降のバージョン。Cisco Unified Cisco Mobility Express リリース 11.6 以降では、HLog ソフトキーがサポートされています。Unified Cisco Mobility Express リリース 12.3 以降では、CLI コマンド **softkeys personal-conf-user** がサポートされています。

## 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register template *template-tag***
4. **softkeys connected {[Confrn] [Endcall] [Hold] [Trnsfer] [HLog]}**
5. **softkeys hold {[Newcall] {Resume}}**
6. **softkeys idle {[Cfwdall] [Newcall] [Redial] [HLog]}**
7. **softkeys seized {[Cfwdall] [Endcall] [Redial]}**
8. **softkeys personal-conf-user**
9. **exit**
10. **voice register pool *pool-tag***
11. **template *template-tag***
12. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	<b>voice register template <i>template-tag</i></b> 例： Router(config)# voice register template 9	音声レジスタ テンプレート コンフィギュレーションモードを開始し、SIP 電話機のテンプレートを作成します。  • <i>template-tag</i> — 範囲：1 ~ 10。
ステップ 4	<b>softkeys connected {[Confrn] [Endcall] [Hold] [Trnsfer] [HLog]}</b> 例： Router(config-register-template)# softkeys connected Endcall Hold Transfer HLog	(オプション) 通話接続中状態時のソフトキーディスプレイ用 SIP phone テンプレートを構成します。  • キーワードは任意の順序で入力できます。 • デフォルトでは、すべてのソフトキーがアルファベット順に表示されます。 • 明示的に定義されていないソフトキーは無効です。
ステップ 5	<b>softkeys hold {[Newcall] {Resume}}</b> 例： Router(config-register-template)# softkeys hold Resume	(オプション) 通話保留状態時のソフトキーディスプレイ用 電話機テンプレートを構成します。  • デフォルトでは、NewCall と Resume ソフトキーがアルファベット順に表示されます。

	コマンドまたはアクション	目的
		<ul style="list-style-type: none"> <li>明示的に定義されていないソフトキーは無効です。</li> </ul>
ステップ 6	<b>softkeys idle</b> {[Cfwdall] [Newcall] [Redial] [HLog] } 例 : <pre>Router(config-register-template)# softkeys idle Newcall Redial Cfwdall HLog</pre>	(オプション) アイドル状態時のソフトキーディスプレイ用電話機テンプレートを構成します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>キーワードは任意の順序で入力できます。</li> <li>デフォルトでは、すべてのソフトキーがアルファベット順に表示されます。</li> <li>明示的に定義されていないソフトキーは無効です。</li> </ul>
ステップ 7	<b>softkeys seized</b> {[Cfwdall] [Endcall] [Redial]} 例 : <pre>Router(config-register-template)# softkeys seized Endcall Redial Cfwdall</pre>	(オプション) 占有状態時のソフトキーディスプレイ用電話機テンプレートを構成します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>キーワードは任意の順序で入力できます。</li> <li>デフォルトでは、すべてのソフトキーがアルファベット順に表示されます。</li> <li>明示的に定義されていないソフトキーは無効です。</li> </ul>
ステップ 8	<b>softkeys personal-conf-user</b> 例 : <pre>Router(config-register-template)# softkeys personal-conf-user</pre>	(オプション) ソフトキーディスプレイ用の個人向けユーザー電話機テンプレートを構成します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>CLI コマンドはデフォルトで無効になっており、パブリックユーザーの電話テンプレートを適用します。</li> <li>このコマンドの <b>no</b> 形式を構成すると、サポートはパブリックユーザーの電話テンプレートに切り替わります。</li> <li>CLI コマンド <b>softkeys personal-conf-user</b> が構成されている場合、他の状態固有のソフトキーを構成することはできません。</li> <li>CLI コマンドは、Cisco IP Conference Phone 7832 および Cisco IP Conference Phone 8832 電話機タイプのみでサポートされます。</li> </ul>
ステップ 9	<b>exit</b> 例 : <pre>Router(config-register-template)# exit</pre>	音声レジスタ テンプレート コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 10	<b>voice register pool</b> <i>pool-tag</i> 例 : <pre>Router(config)# voice register pool 36</pre>	音声レジスタ プール コンフィギュレーション モードを開始して、SIP 電話機の電話機固有パラメータを設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 11	<b>template</b> <i>template-tag</i> 例 : <pre>Router(config-register-pool)# template 9</pre>	SIP 電話機テンプレートを、設定する電話機に適用します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>template-tag</i> — ステップ 3 の <b>voice register template</b> コマンドで作成されたテンプレートタグ。</li> </ul>
ステップ 12	<b>end</b> 例 : <pre>Router(config-register-pool)# end</pre>	特権 EXEC モードに戻ります。

### 次のタスク

Cisco Unified CME で電話機のパラメータの修正が完了したら、新しい構成ファイルを生成し、電話機を再起動します。SIP 電話機用構成プロファイルの生成を参照してください。

## ソフトキー構成の確認

### ステップ 1 show running-config

このコマンドを使用して、設定を確認します。次の例では、ソフトキー表示が電話テンプレート 7 で変更され、そのテンプレートが SIP 電話機 2 に適用されます。他のすべての電話機はデフォルト配列のソフトキーを使用します。

例 :

```
Router# show running-config
!
voice register dn 1 dual-line
  ring feature secondary
  number 126 secondary 1261
  description Sales
  name Smith
  call-forward busy 500 secondary
  call-forward noan 500 timeout 10
  huntstop channel
  no huntstop
  no forward local-calls
!
!
voice register template 7
  session-transport tcp
  softkeys hold Resume Newcall
  softkeys idle Newcall Redial Cfdall HLog
  softkeys connected Endcall Transfer Confrn Hold Hlog
  voicemail 52001 timeout 30
.
.
.
voice register pool 2
  id mac 0030.94C2.A22A
```

```
number 1 dn 4
template 7
dialplan 3
!
```

## ステップ2 show telephony-service ephone-template または show voice register template *template-tag*

例：

これらのコマンドは個々のテンプレートの内容を表示します。

```
Router# show telephony-service ephone-template
ephone-template 1
softkey ringing Answer Dnd
conference drop-mode never
conference add-mode all
conference admin: No
Always send media packets to this router: No
Preferred codec: g711ulaw
User Locale: US
Network Locale: US
```

または

```
Router# show voice register template 7
Temp Tag 7
Config:
Attended Transfer is enabled
Blind Transfer is enabled
Semi-attended Transfer is enabled
Conference is enabled
Caller-ID block is disabled
DnD control is enabled
Anonymous call block is disabled
Voicemail is 52001, timeout 30
KPML is disabled
Transport type is tcp
softkey connected Endcall Trnsfer Confrn Hold HLog
softkey hold Resume Newcall
softkey idle Newcall Redial Cfwall HLog
```

## Flash ソフトキーの有効化



---

**制約事項** IP Phone は、ソフトキーディスプレイをサポートする必要があります。

---

始める前に

Flash ソフトキーを有効にするには、次の手順を実行します。

手順の概要

### 1. enable

2. **configure terminal**
3. **telephony-service**
4. **fxo hook-flash**
5. **restart all**
6. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	<b>telephony-service</b> 例： Router(config)# telephony-service	telephony-service コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 4	<b>fxo hook-flash</b> 例： Router(config-telephony)# <b>fxo hook-flash</b>	FXO ポートを使用した PSTN 通話でソフトキーディスプレイに対応する電話機で Flash ソフトキーを有効にします。  (注) Flash ソフトキーディスプレイは、ローカルの IP Phone 間の通話に対して、自動的に無効となります。
ステップ 5	<b>restart all</b> 例： Router(config-telephony)# restart all	この Cisco Unified CME ルータに関連付けられたすべての電話機の高速度リブートを実行します。DHCP または TFTP サーバに接続して、最新情報を取得することは行われません。
ステップ 6	<b>end</b> 例： Router(config-telephony)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

## Flash ソフトキー構成の確認

ステップ 1 **show running-config** コマンドを使用して、Flash ソフトキーを含む構成全体を表示します。これは、出力の telephony-service 部にリストされます。

例：



```
Router# show running-config
telephony-service
fxo hook-flash
load 7960-7940 P00305000600
load 7914 S00103020002
max-ephones 100
max-dn 500
```

ステップ2 **show telephony-service** コマンドを使用して、構成の telephony-service 部分のみを表示します。

## 機能ブロックの構成

SCCP 電話機に機能ブロックを設定するには、次の手順を実行します。

始める前に

Cisco Unified CME 4.0 以降のバージョン。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone-template** *template-tag*
4. **features blocked** [CFwdAll] [Confrn] [GpickUp] [Park] [PickUp] [Trnsfer]
5. **exit**
6. **ephone** *phone-tag*
7. **ephone-template** *template-tag*
8. **restart**
9. テンプレートを適用する各電話機にたいして、手順5～8を繰り返します。
10. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<b>enable</b> 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<b>configure terminal</b> 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ3	<b>ephone-template</b> <i>template-tag</i> 例：	ephone テンプレート コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
	Router(config)# ephone-template 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>template-tag</i>— 構成タスク中にこのテンプレートを識別する一意のシーケンス番号です。範囲は 1 ~ 20 です。</li> </ul>
ステップ 4	<b>features blocked [CFwdAll] [Confrn] [GpickUp] [Park] [PickUp] [Trnsfer]</b>  例： Router(config-ephone-template)# features blocked Park Trnsfer	指定されたソフトキーがその機能呼び出さないようにします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>CFwdAll</b>— 不在転送通話。</li> <li>• <b>Confrn</b>— 会議。</li> <li>• <b>GpickUp</b>— グループ通話ピックアップ。</li> <li>• <b>Park</b>— 通話パーク。</li> <li>• <b>PickUp</b>— ダイレクトまたはローカル通話ピックアップこれには、最後にパークされたコールのピックアップおよび別の内線またはパークスロットからのピックアップが含まれます。</li> <li>• <b>Trnsfer</b>— Call Transfer。</li> </ul>
ステップ 5	<b>exit</b>  例： Router(config-ephone-template)# exit	ephone テンプレート コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 6	<b>ephone phone-tag</b>  例： Router(config)# ephone 25	ephone コンフィギュレーション モードを開始します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>phone-tag</i>— 構成タスク中にこの ephone を識別する一意のシーケンス番号です。実際の Cisco Unified CME システムの ephone の最大数は、バージョンとプラットフォームに固有です。値の範囲については、CLI のヘルプを参照してください。</li> </ul>
ステップ 7	<b>ephone-template template-tag</b>  例： Router(config-ephone)# ephone-template 1	ephone テンプレートを ephone に適用します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>template-tag</i>— この ephone に適用するテンプレート番号。</li> </ul> (注) ephone-template 構成を表示するには、 <b>show telephony-service ephone-template</b> コマンドを使用します。
ステップ 8	<b>restart</b>  例： Router(config-ephone)# restart	この ephone の高速リブートを実行します。DHCP または TFTP サーバに接続して、最新情報を取得することは行われません。

	コマンドまたはアクション	目的
		(注) テンプレートを複数の ephone に適用する場合は、telephony-service 構成モードで <b>restart all</b> コマンドを使用して、すべての電話機をリブートし、新しいテンプレート情報を保持するようにします。
ステップ 9	テンプレートを適用する各電話機にたいして、手順 5～8 を繰り返します。	—
ステップ 10	<b>end</b> 例： Router(config-ephone)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

## Block ソフトキー構成の確認

- ステップ 1 **show running-config** コマンドを使用すると、Ephone テンプレートや Ephone 構成を含む実行中の構成を表示できます。
- ステップ 2 **show telephony-service ephone-template** コマンドと **show telephony-service ephone** コマンドを使用すると、Ephone テンプレートおよび Ephone 構成の内容のみを個別に表示できます。

## SIP 電話機の Immediate Divert (iDivert) ソフトキーの構成

Cisco Unified SIP IP 電話で（接続された状態で）iDivert ソフトキーを構成するには、次の手順を実行します。



- (注) 会議の 1 人の参加者（Meetme、アドホック、cBarge、または参加）が iDivert ソフトキーを押した場合、残りのすべての参加者は iDivert ソフトキーを押した参加者の発信グリーティングを受信します。



## 制約事項

- **[call-forward all]** が電話機で有効の場合、iDivert 機能は、無効となります。
- **[call-forward busy]** が電話機に対してアクティブで、1 番目の通話で電話機がビジーの場合、2 番目の通話に対して iDivert 機能はアクティブ化されません。
- 無応答時転送 (CFNA) タイムアウト後に、iDivert ソフトキーを押すと、通話は、音声メールに転送されます。
- 発信側と着信側の両方が同時に iDivert ソフトキーを押した場合、両者はそれぞれ音声メッセージングメールボックスに通話を転送できます。発信側の音声メッセージングメールボックスは、着信側の発信グリーティングの一部を受信します。同様に、着信側の音声メッセージングメールボックスは、発信側の発信グリーティングの一部を受信します。
- SIP 電話機が Cisco Unified Cisco Mobility Express の SRST モードにフォールバックする場合、iDivert ソフトキーはサポートされません。
- トランスコーディングされた音声メールへの接続後の iDivert はサポートされません。

## 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register template *template-tag***
4. **softkeys connected [Confrn] [Endcall] [Hold] [Trnsfer] [iDivert]**
5. **softkeys hold [Newcall] {Resume} [iDivert]**
6. **softkeys ringing [Answer] [DND] [iDivert]**
7. **exit**
8. **voice register pool *pool-tag***
9. **template *template-tag***
10. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	<b>voice register template <i>template-tag</i></b> 例： Router(config)# voice register template 9	音声レジスタ テンプレート コンフィギュレーションモードを開始し、SIP 電話機のテンプレートを作成します。

	コマンドまたはアクション	目的
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>template-tag</i> — 範囲：1 ～ 10。</li> </ul>
ステップ 4	<b>softkeys connected [Confrn] [Endcall] [Hold] [Trnsfer] [iDivert]</b> 例： <pre>Router(config-register-template)# softkeys connected Endcall Hold Transfer iDivert</pre>	(オプション) 通話接続中状態時のソフトキーディスプレイ用 SIP phone テンプレートを構成します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• キーワードは任意の順序で入力できます。</li> <li>• デフォルトでは、すべてのソフトキーがアルファベット順に表示されます。</li> <li>• 明示的に定義されていないソフトキーは無効です。</li> </ul>
ステップ 5	<b>softkeys hold [Newcall] {Resume} [ iDivert]</b> 例： <pre>Router(config-register-template)# softkeys hold Newcall Resume</pre>	(オプション) 通話保留状態時のソフトキーディスプレイ用 電話機テンプレートを構成します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• デフォルトでは、NewCall と Resume ソフトキーがアルファベット順に表示されます。</li> <li>• 明示的に定義されていないソフトキーは無効です。</li> </ul>
ステップ 6	<b>softkeys ringing [Answer] [DND] [iDivert]</b> 例： <pre>Router(config-register-temp)# softkeys ringin dnd answer idivert</pre>	通話呼び出し中状態時に SIP 電話機に表示されるソフトキーの順序とタイプを変更します。
ステップ 7	<b>exit</b> 例： <pre>Router(config-register-template)# exit</pre>	音声レジスタ テンプレート コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 8	<b>voice register pool <i>pool-tag</i></b> 例： <pre>Router(config)# voice register pool 36</pre>	音声レジスタ プール コンフィギュレーション モードを開始して、SIP 電話機の電話機固有パラメータを設定します。
ステップ 9	<b>template <i>template-tag</i></b> 例： <pre>Router(config-register-pool)# template 9</pre>	SIP 電話機テンプレートを、設定する電話機に適用します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>template-tag</i>— ステップ 3 の音声登録テンプレートコマンドを使用して作成されたテンプレートタグ。</li> </ul>
ステップ 10	<b>end</b> 例： <pre>Router(config-register-pool)# end</pre>	設定モードを終了します。

## SCCP 電話機のサービス URL 回線キーボタンの構成

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone template** *template-tag*
4. **url-button** *index type* | url [*name*]
5. **exit**
6. **ephone** *phone-tag*
7. **ephone-template** *template-tag*
8. **end**

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	<b>ephone template</b> <i>template-tag</i> 例： Router(config)# ephone template 5	<b>ephone</b> テンプレート コンフィギュレーション モードを開始して、 <b>ephone</b> テンプレートを作成します。  • <i>template-tag</i> — 作成される <b>ephone</b> テンプレートの固有識別子。範囲は 1 ~ 10 です。
ステップ 4	<b>url-button</b> <i>index type</i>   url [ <i>name</i> ] 例： Router# (config-ephone-template) #url-button 1 myphoneapp Router (config-ephone-template) #url-button 2 em Router (config-ephone-template) #url-button 3 snr Router (config-ephone-template) #url-button 4 http://www.cisco.com	回線キーにサービス URL ボタンを設定します。  • <i>index</i> — 一意インデックス番号。範囲：1 ~ 8。 • <b>type</b> — サービス URL ボタンのタイプ。次のタイプの URL サービス ボタンを使用できます。  • <b>myphoneapp</b> ：電話機のユーザインターフェイスで設定された電話アプリケーション。  • <b>em</b> ：エクステンション モビリティ。  • <b>snr</b> ：シングル ナンバー リーチ。  • <i>url name</i> — 最大長が 31 文字のサービス URL。
ステップ 5	<b>exit</b> 例：	<b>ephone</b> テンプレート コンフィギュレーション モードを終了します。

	コマンドまたはアクション	目的
	Router(config-ephone-template)# exit	
ステップ 6	<b>ephone</b> <i>phone-tag</i> 例： Router(config)#ephone 36	ephone コンフィギュレーション モードを開始します。  • <i>phone-tag</i> — 構成タスク中にこの ephone を識別する一意のシーケンス番号です。
ステップ 7	<b>ephone-template</b> <i>template-tag</i> 例： Router(config-ephone)# ephone-template 5	ephone テンプレートを、設定する ephone に適用します。
ステップ 8	<b>end</b> 例： Router(config-ephone)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

#### 次のタスク

Cisco Unified CME で電話機の URL ボタンの設定が完了したら、電話機を再起動します。

## SIP 電話機のサービス URL 回線キーボタンの構成

### 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register template** *template-tag*
4. **url-button** [*index number*] [*url location*] [*url name*]
5. **exit**
6. **voice register pool** *phone-tag*
7. **template** *template-tag*
8. **end**

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。  • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	<b>voice register template</b> <i>template-tag</i> 例： <pre>Router(config)# voice register template 5</pre>	音声レジスタ テンプレート コンフィギュレーションモードを開始し、SIP 電話機のテンプレートを作成します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>template-tag</i> — 作成されるテンプレートの固有識別子。範囲は 1 ~ 10 です。</li> </ul>
ステップ 4	<b>url-button</b> [ <i>index number</i> ] [ <i>url location</i> ] [ <i>url name</i> ] 例： <pre>Router(config-register-temp)url-button 1 http://www.cisco.com</pre>	回線キーにサービス URL ボタンを設定します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>index number</i> — 一意のインデックス番号。範囲：1 ~ 8。</li> <li>• <i>url location</i> — URL のロケーション。</li> <li>• <i>url name</i> — 最大長が 31 文字のサービス URL。</li> </ul>
ステップ 5	<b>exit</b> 例： <pre>Router(config-register-temp)# exit</pre>	音声レジスタ テンプレート コンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ 6	<b>voice register pool</b> <i>phone-tag</i> 例： <pre>Router(config)# voice register pool 12</pre>	音声レジスタ プール コンフィギュレーションモードを開始します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>phone-tag</i> — 構成タスク中にこの音声登録プールを識別する一意の番号。</li> </ul>
ステップ 7	<b>template</b> <i>template-tag</i> 例： <pre>Router(config-register-pool)# template 5</pre>	SIP 電話テンプレートを電話機に適用します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>template-tag</i> — 手順 3 で作成したテンプレートの固有識別子。</li> </ul>
ステップ 8	<b>end</b> 例： <pre>Router(config-register-pool)# end</pre>	特権 EXEC モードに戻ります。

### 次のタスク

Cisco Unified CME で電話機の URL ボタンの設定が完了したら、新しい構成ファイルを生成し、電話機を再起動します。「[SIP 電話機用構成プロファイルの生成](#)」を参照してください。



## SCCP 電話回線キーの機能ボタンの構成



### 制約事項

- 応答、選択、C 割込、参加、および復帰の各機能は PLK としてサポートされません。
- 機能ボタンは、次の Cisco Unified IP Phone でのみサポートされます。6911、7941、7942、7945、7961、7962、7965、7970、7971、および 7975（それぞれ SCCP v12 以降のバージョンを搭載）。
- ハードボタンから使用できる機能はプロビジョニングされません。機能ボタンがプロビジョニングされない理由を確認するには、`show ephone register detail` コマンドを使用します。
- Cisco Unified IP Phone 6911 電話機では、一部の機能ボタンがサポートされません。コール自動転送、ピックアップ、グループピックアップ、およびミーティングのみが Cisco Unified IP Phone 6911 でサポートされる機能ボタンです。
- `privacy-button` コマンドは、SCCP バージョン 8 以降の Cisco Unified IP Phone で利用できます。`privacy-button` コマンドは、他の使用可能な機能ボタンより優先されます。
- ロケールは Cisco Unified IP Phone 7914 ではサポートされません。
- コール待機のキャンセルまたはライブレコード機能ボタンではロケールがサポートされません。
- サイレント、ハント、プライバシー、ログインおよびナイトサービスの機能ボタンの機能状態は LED で示されます。PLK の LED 動作の一覧については、「[表 6: LED の動作 \(15 ページ\)](#)」を参照してください。

### 手順の概要

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `ephone template template-tag`
4. `feature-button index <feature identifier> [label <label>]`
5. `exit`
6. `ephone phone-tag`
7. `ephone-template template-tag`
8. `end`

### 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<code>enable</code> 例： <code>Router&gt; enable</code>	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	<code>configure terminal</code> 例：	グローバル構成モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
	Router# configure terminal	
ステップ 3	<b>ephone template</b> <i>template-tag</i> 例： Router(config)# ephone template 10	ephone テンプレート コンフィギュレーション モードを開始して、ephone テンプレートを作成します。  • <i>template-tag</i> - 作成される ephone テンプレートの固有識別子。範囲：1 ~ 10
ステップ 4	<b>feature-button index</b> < <i>feature identifier</i> > [ <b>label</b> < <i>label</i> >] 例： Router(config-ephone-template) feature-button 1 label hold	回線キーに機能ボタンを構成します。  • <i>index</i> - 特定の機能タイプの 25 個のインデックス番号のいずれか。  • <i>feature identifier</i> - 機能 ID または stimulus ID。  • <b>label</b> 非デフォルトのテキストラベル。
ステップ 5	<b>exit</b> 例： Router(config-ephone-template)# exit	ephone テンプレート コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 6	<b>ephone</b> <i>phone-tag</i> 例： Router(config)# ephone 5	ephone コンフィギュレーション モードを開始します。  • <i>phone-tag</i> - 構成タスク中にこの ephone を識別する一意のシーケンス番号。
ステップ 7	<b>ephone-template</b> <i>template-tag</i> 例： Router(config-ephone)# ephone-template 10	ephone テンプレートを、設定する ephone に適用します。
ステップ 8	<b>end</b> 例： Router(config-ephone)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

## 次のタスク

Cisco Unified CME で電話機の機能ボタンの設定が完了したら、電話機を再起動します。

## SIP 電話回線キーの機能ボタンの構成

## 手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register template** *template-tag*

4. **feature-button** [*index*] [*feature identifier*]
5. **exit**
6. **voice register pool** *phone-tag*
7. **template** *template-tag*
8. **end**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： <pre>Router&gt; enable</pre>	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。</li> </ul>
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： <pre>Router# configure terminal</pre>	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	<b>voice register template</b> <i>template-tag</i> 例： <pre>Router(config)# voice register template 5</pre>	音声レジスタ テンプレート コンフィギュレーション モードを開始し、SIP 電話機のテンプレートを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>template-tag</i> — 作成されるテンプレートの固有識別子。範囲は 1 ~ 10 です。</li> </ul> (注) 機能ボタンは、音声レジスタ プール コンフィギュレーション モードまたは音声レジスタテンプレートコンフィギュレーションモードで設定できます。両方の設定が適用された場合は、音声レジスタ プールでの機能ボタン設定が優先されます。
ステップ 4	<b>feature-button</b> [ <i>index</i> ] [ <i>feature identifier</i> ] 例： <pre>Router(config-voice-register-template) feature-button 1 DnD</pre> <pre>Router(config-voice-register-template) feature-button 2 EndCall</pre> <pre>Router(config-voice-register-template) feature-button 3 Cfdall</pre>	回線キーに機能ボタンを構成します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>index</i> — 特定の機能タイプの 12 個のインデックス番号のいずれか。</li> <li>• <i>feature identifier</i> — 機能の固有識別子。次の機能または stimulus ID のいずれか。Redial、Hold、Transfer、Cfdall、Privacy、MeetMe、Confm、Park、Pickup、Gpickup、Mobility、Dnd、ConfList、RmLstC、CallBack、NewCall、EndCall、HLog、NiteSrv、Acct、Flash、Login、TrnsfVM、または LiveRcd。</li> </ul>
ステップ 5	<b>exit</b> 例：	音声レジスタ テンプレート コンフィギュレーション モードを終了します。

	コマンドまたはアクション	目的
	<code>Router(config-register-temp)# exit</code>	
ステップ 6	<b>voice register pool <i>phone-tag</i></b> 例： <code>Router(config)# voice register pool 12</code>	音声レジスタ プール コンフィギュレーション モードを開始します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>phone-tag</i> — 構成タスク中にこの音声登録プールを識別する一意の番号。</li> </ul>
ステップ 7	<b>template <i>template-tag</i></b> 例： <code>Router(config-register-pool)# template 5</code>	テンプレートを電話機に適用します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>template-tag</i> — 手順 3 で作成したテンプレートの固有識別子。</li> </ul>
ステップ 8	<b>end</b> 例： <code>Router(config-register-pool)# end</code>	特権 EXEC モードに戻ります。

#### 次のタスク

Cisco Unified CME で電話機の機能ボタンの設定が完了したら、新しい構成ファイルを生成し、電話機を再起動します。「[SIP 電話機用構成プロファイルの生成](#)」を参照してください。

## ソフトキーの構成例

### ソフトキーディスプレイの変更例

次の例では、2つの ephone テンプレートを作成することによって4台の電話機のソフトキーディスプレイを変更します。ephone テンプレート 1 が ephone 11、13、および 15 に適用されます。テンプレート 2 が ephone 34 に適用されます。他のすべての電話機のソフトキーディスプレイはデフォルトのキー配列を使用します。

```
ephone-template 1
softkeys idle Redial Newcall
softkeys connected Endcall Hold Trnsfer
ephone-template 2
softkeys idle Redial Newcall
softkeys seized Redial Endcall Pickup
softkeys alerting Redial Endcall
softkeys connected Endcall Hold Trnsfer
ephone 11
ephone-template 1
ephone 13
```

```
ephone-template 1
ephone 15
ephone-template 1
ephone 34
ephone-template 2
```

## SCCP 電話機の HLog ソフトキーの変更例

次の例では、ephone-template 7 で構成されている電話機のソフトキーの外観および順序を設定します。[ハント (HLog) ]キーは、電話機がアイドル状態のとき、回線を捕捉したとき、またはコールに接続されたときに使用できます。ソフトキーなしの電話機では、標準 HLog コードを使用して、応答可能状態と応答不可状態を切り替えます。

```
telephony-service
hunt-group logout HLog
fac standard
.
.
ephone-template 7
softkeys connected Endcall Hold Transfer Hlog
softkeys idle Newcall Redial Pickup Cfdall Hlog
softkeys seized Endcall Redial Pickup Cfdall Hlog
```

## SIP 電話機の HLog ソフトキーの変更例

次の例では、voice register template 7 で構成されている電話機のソフトキーの外観および順序を設定します。Hlog ソフトキーは、電話機がアイドル状態で、ringIn がありか、通話に接続されている場合に使用できます。ソフトキーなしの電話機では、標準 HLog コードを使用して、応答可能状態と応答不可状態を切り替えます。

```
telephony-service
hunt-group logout HLog
fac standard
.
.
voice register template 7
softkeys connected Endcall Hold Transfer Hlog
softkeys idle Newcall Redial Pickup Cfdall Hlog
softkeys ringIn Answer DND iDivert Hlog
```

## PSTN 通話の Flash ソフトキーの有効化例

次は、音声ポートを介した PSTN 通話用 Flash ソフトキーを有効化する例です。

```
telephony-service
fxo hook-flash
```

## パークおよび転送ブロッキングの例

次の例では、内線番号 2333 での Park および Transfer ソフトキーの使用をブロックします。

```
ephone-template 1
features blocked Park Trnsfer
ephone-dn 2
number 2333
ephone 3
button 1:2
ephone-template 1
```

## 会議ブロッキングの例

次の例では、内線 2579（アナログ回線上）での会議機能をブロックします。

```
ephone-template 1
features blocked Confrn
ephone-dn 78
number 2579
ephone 3
ephone-template 1
mac-address C910.8E47.1282
type anl
button 1:78
```

## Immediate Divert (iDivert) 構成例

次の例では、接続状態での iDivert ソフトキーを示します。

```
Router# show voice register template 1
Temp Tag 1
Config:
  Attended Transfer is enabled
  Blind Transfer is enabled
  Semi-attended Transfer is enabled
Conference is enabled
Caller-ID block is disabled
  DnD control is enabled
  Anonymous call block is disabled
Softkeys connected iDivert
```

## SCCP 電話回線キーの URL ボタンの構成例

次の例では、回線キー用に設定される 3 つの URL ボタンを示します。

```
!  
!  
!  
ephone-template 5  
  url-button 1 em  
  url-button 2 mphoneapp mphoneapp  
  url-button 3 snr  
!  
ephone 36  
  ephone-template 5
```

## SCCP 電話回線キーの URL ボタンの構成例

次の例では、音声レジスタ テンプレート 1 で設定される URL ボタンを示します。

```
Router# show run!voice register template 1  
url-button 1 http://9.10.10.254:80/localdirectory/query My_Dir  
url-button 5 http://www.yahoo.com Yahoo  
!voice register pool 50  
!
```

## SCCP 電話回線キーの機能ボタンの構成例

次の例では、回線キーに設定される機能ボタンを示します。

```
!  
!  
!  
ephone-template 10  
  feature-button 1 Park  
  feature-button 2 MeetMe  
  feature-button 3 CallBack  
!  
!  
ephone-template 10
```

## SIP 電話回線キーの機能ボタンの構成例

次の例では、回線キーに設定される 3 つの機能ボタンを示します。

```
voice register template 5
  feature-button 1 DnD
  feature-button 2 EndCall
  feature-button 3 Cfdall
  feature-button 4 HLog

!!

voice register pool 12
  template 5
```



(注) HLog 機能の詳細については、「[通話対応機能](#)」の章を参照してください。

### 次の作業

Cisco Unified Cisco Mobility Express で電話機のパラメータの修正が完了したら、新しい構成ファイルを生成し、電話機を再起動します。詳細については、[電話機用構成ファイルの生成](#)を参照してください。

### ephone テンプレート

**softkeys** コマンドは、1つ以上の個々の ephone に適用される ephone テンプレートに含まれています。テンプレートの詳細については、「[テンプレート](#)」を参照してください。

### HLog ソフトキー

HLog ソフトキーは、**hunt-group logout HLog** コマンドを使用して、表示前に有効化する必要があります。詳細については、[通話対応機能の構成](#)を参照してください。

## ソフトキーの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレーンで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、[www.cisco.com/go/cfn](http://www.cisco.com/go/cfn) に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 7: ソフトキーの機能情報

機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	機能情報
アカウント コードの入力	3.0	アカウント コードの入力が導入されました。



機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	機能情報
Barge ソフトキー	4.3	Barge、LiveRcd、TrnsfVM ソフトキーを追加しました。
Conferencing ソフトキー	4.1	ConfList、Join、MeetMe、RmLstC、Select ソフトキーを追加しました。
機能のブロック	4.0	機能のブロックが導入されました。
Feature Policy ソフトキー制御	8.5	機能ポリシー テンプレートを使用して、Cisco Unified SIP IP Phone 8961、9951、および 9971 でソフトキーの表示を制御できます。
Flash ソフトキー	3.0	Flash ソフトキーを導入しました。
SIP Phone の Immediate Divert ソフトキー	8.5	SIP IP phone の iDivert ソフトキーのサポートを追加しました。
プログラム可能なライン キー	8.5	SIP および SCCP IP Phone の両方の回線キーに、機能ボタンまたは URL ボタンを設定できます。
プログラム可能な回線キーの機能拡張	8.8	プログラム可能な回線キーとしてのソフトキーのサポートが、Cisco Unified 6945、8941、および 8945 SCCP IP Phone に追加されました。
Cisco Unified SIP IP Phone のプログラム可能な回線キー	9.0	プログラム可能な回線キーとしてのソフトキーのサポートが、Cisco Unified 6911、6921、6941、6945、6961、8941、および 8945 SIP IP Phone に追加されました。

機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	機能情報
ソフトキーディスプレイ	12.3	Cisco IP Conference Phone 7832 および 8832 で、「Recents」、「Contacts、Apps」、「Favorites」、「Messages」、「Settings」のソフトキーのサポートが追加されました。
	11.7	Cisco IP Phone 7800 Series のソフトキー「Details」および Cisco IP Phone 8800 Series の「Show detail」のサポートが追加されました。
	11.6	SIP 電話機の HLog ソフトキーサポートが導入されました。
	4.1	SIP を実行中の IP Phone に対する構成可能なソフトキーディスプレイが Cisco Unified IP Phone 7911G、7941G、7941GE、7961G、7961GE、7970G、および 7971GE でサポートされました
	4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>オプションの HLog ソフトキーが、接続中、アイドル、および捕捉の各通話状態に追加されました。</li> <li>保留通話状態でのソフトキーディスプレイをカスタマイズする機能が追加されました。保留通話状態でのソフトキーディスプレイをカスタマイズする機能が追加されました。</li> </ul>
	3.2	

機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	機能情報
		構成可能なソフトキーディスプレイ（アラート、接続中、アイドル、および捕捉の各通話状態でのソフトキーディスプレイをカスタマイズする機能）が導入されました。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。